

探求科金融プロジェクト学習 指導計画案（中学X年 組）（計 名）

<b>単元名</b>	リスクマネジメントとしての自助の意識の涵養	<b>教科書NO</b>	
<b>領域</b>	自己管理領域、人間関係形成領域、自治的活動領域、文化創造領域、将来設計領域	<b>能力</b>	自己管理能力、自他理解能力、秩序形成能力、自己修養能力、将来設計能力
<b>実施月日</b>	令和4年**月**日	<b>作成/指導者</b>	柳沢富夫/木村京子
<b>関連教科内容・行事</b>			

I. 児童・生徒に見られる実態と課題

<p>実態（ねらいとの関連）</p> <p>未来の世界、日本、地域経済と自助・共助・公助の状態と自分の姿の関係を時間をかけて見つめた経験がない。身近に自助で解決できる社会課題があることに気付いていない。社会課題を解決する為に学習が必要であることに気付いていない。</p>	<p>実態から考えられる課題（背景や原因）</p> <p>目先の知識を蓄える事が評価対象になっている。答えのない課題に対する姿勢が評価しにくい。学内活動と社会、地域との連動が意識されていない。</p>
---	--

II. 単元のねらい・評価

<p>ねらい/課題を踏まえたねらい</p> <p>自分たちの未来を支える為に、各自の知識、能力を磨き、積極的に活動を起こす事が大切である事、リスクに対しては自助の方法も認識し、学習意欲を向上させる。</p>	<p>重点</p> <p>■主体性 ■積極性</p> <p>■適応性 ■公德性</p> <p>■論理性 ■実効性</p> <p>■創造性</p>
<p>評価/具体的な場面・状況において満足できる行為・行動・態度/（ ）評価方法</p> <p>各自のルーブリック評価を実施して、学習のレベルの意識をつけさせた上で評価する。</p>	

III. 学習の流れ

ステップ	具体的な学習視点	分	各ステップのねらい/ねらいに迫るための手立て
1 知 る	<p>課題発見・課題の把握</p> <p>&lt;気付かせる・知識&gt;</p> <p>日常生活の関連</p> <p>興味・関心</p> <p>社会的課題の認識</p> <p>自己の振り返り</p>	30	<p>講師からの情報提供。SDGs等の意識変革が金融に影響を与え、働き方、資金調達手段、通貨の意義、価値創造方法などが変わる近未来に関する情報・知識の整理。さらにその情報を各自の興味・関心を通して、再話してみることの重要性。社会課題の正しい認識とそれを自分事にする姿勢を促す。</p>
2 考 え る	<p>価値観・規範意識</p> <p>&lt;考えさせる・教える・目標を立てさせる&gt;</p> <p>情報収集・原因の追求</p> <p>行動・態度の価値づけ</p> <p>判断・行動基準の明確化</p> <p>目標に対する達成度評価も検討する</p>	40	<p>人生というプロジェクトを成功に導くために、リスク管理が必須であることを知り、リスクを管理する手法にリスク・マネジメントという手法があることを知る。チームでリスク分析表を作成する。</p>
3 行 動 す る	<p>日常実践・活用</p> <p>&lt;身に付けさせて、活用させる&gt;</p> <p>行動計画に対しての進捗の確認</p> <p>目標達成度の確認</p> <p>対外的な発表の計画</p>	30	<p>人生の夢を描き、リスクを理解した上で、対策として自助・共助・公助をバランスよく組み合わせた行動計画をまとめ、発表する。</p>

IV. 本時 授業時間 実施日 <令和4年\*\*月\*\*日 ( ) ( ) 校時

本時のねらい	経済の担い手となるには？	1/2コマ
学習評価	金融初学者として、補足情報の入手。新しい金融世界が迫っている事理解。各自の近未来予測。	<input checked="" type="checkbox"/> 行動観察 <input type="checkbox"/> 質問紙 <input checked="" type="checkbox"/> 対話 <input checked="" type="checkbox"/> 発言 感想・ <input checked="" type="checkbox"/> 作文 <input type="checkbox"/> テスト <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 自己評価 <input type="checkbox"/> 相互評価 <input type="checkbox"/> 作品成果物
授業評価	チームでの発表内容の質によって、導入部分での情報を伝えられているかの確認。 ルーブリックへの記載項目データの質によって、正確に作業指示が受け取られているかを確認。	
導入	目的1	これからの時代を生き延びるための社会的背景の知識の習得 (20分)
		SDGs等の意識変革：各自の興味・関心のある分野に当てはめて想像してみよう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境的側面・・・気候変動、感染症などにより、働く場所や働き方が変わる？</li> <li>・社会的側面・・・男女平等、外国人の雇用などにより、組織や雇用制度が変わる？</li> <li>・経済的側面・・・クラウドファンディングやNFTなどにより、資金調達の可能性が広がる？</li> </ul>
展開	目的2	複雑な社会的背景で各自が描ける夢の洗い出し (5分)
		まず「可能性」に着目してみる。人生100年時代をイメージして、各年齢層で描ける夢を各自で洗い出し、付箋に記入する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境的可能性・・・働く場所や働くスタイルの選択肢が増える</li> <li>・社会的可能性・・・組織や社会との関わり方の選択肢が増える</li> <li>・経済的可能性・・・資金調達の手段の選択肢が増える</li> </ul>
展開	目的3	複雑な社会的背景を踏まえて各自が描いた夢の共有 (10分)
		各自が記入した付箋をチームごとに模造紙に貼り出して整理する。
まとめ	目的4	夢を妨げるリスク情報をチームで共有 (15分)
		目的3で共有した年齢層ごとの夢を妨げるリスク情報を付箋に書き出し、チームで模造紙に貼りながら整理していく。

探求科金融プロジェクト学習 指導計画案 (中学X年 組) (計 名)

本時 授業時間 実施日 <令和4年\*\*月\*\*日 ( ) ( ) 校時

本時のねらい	経済の担い手となるには？		2/2コマ
学習評価	未来予測を元にしたアクションプランの創出。	<input checked="" type="checkbox"/> 行動観察 <input type="checkbox"/> 質問紙 <input checked="" type="checkbox"/> 対話 <input checked="" type="checkbox"/> 発言 感想・ <input checked="" type="checkbox"/> 作文 <input type="checkbox"/> テスト <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 自己評価 <input type="checkbox"/> 相互評価 <input type="checkbox"/> 作品成果物	
授業評価	チームでの発表内容の質によって、導入部分での情報を伝えられているかの確認。 ルーブリックへの記載項目データの質によって、正確に作業指示が受け取られているかを確認。		
導入	目的1	チームでリスクマネジメント。リスク分析を行う (10分)	
		・1/2コマ目で整理したリスクごとに、重要度、緊急度を分析、模造紙に書き込む。	
展開	目的2	チームで分析したリスクを踏まえて、「夢リスクそなえマップ」の作成 (20分)	
		・チームごとに夢とリスクを「夢リスクそなえマップ」の年齢軸 (20～30代、40～50代、60代以降) に当てはめる。 ・目的1の分析結果も記入。(「要・急」「要」「急」「不要・不急」のいずれか丸をつける) ・年齢ごとの夢とリスクに対する備えとして適切と思われる自助・共助・公助の組み合わせと各比率を考え、チームで話し合って記入。	
まとめ	目的3	代表チームによる発表 (10分)	
		夢リスクそなえマップの代表チームによる発表	
総括	目的4	講師による総括 (10分)	
		・自助と民間保険 自助・・・自分で守る (民間保険・貯蓄等) 共助・・・共に支え合う (社会保険) 公助・・・困った人を助ける (社会福祉・公的扶助・公衆衛生)  社会保障制度の持続可能性を確保するためには、政府による社会保障の負担と給付の見直しも大切ですが、私たちは、「自助」「共助」「公助」をバランスよく組み合わせていくことも大切です。	